

(仮称) えんがる町民センターの整備について

1 経過

(仮称) えんがる町民センターの整備に当たっては、平成22年10月、町民が遠軽町文化センター等の建設の可能性を探り、建設の是非を町へ進言するため、「遠軽町文化センター等を考える会」を設置し、地域の関係団体及び関係機関や一般公募により選出された委員30名により、平成22年10月から平成23年10月までの期間、会議による検討が行われ、平成23年10月7日に次のとおり進言書が提出されました。

◆主な進言内容（要約）

(1) 遠軽町文化センター（仮称）建設の必要性について

福祉センターの代替施設としての役割も担った文化センターを建設すべき。

(2) ホールの主目的と施設の規模や内容について

メインホールは、「音楽を中心とした文化活動」で十分使えるよう、音響を重視した広い舞台をもつ施設とし、客席は600席程度の固定席に200人程度の立見席を有するものであること。多目的利用が可能な平土間（平床）のホール、音響の良いリハーサル室、広い和室、複数の会議室・楽屋などを備え、各室が複数の機能を兼ね備えるなど、さまざまな工夫を凝らした使いやすいものとする。

(3) 建設場所について

JR遠軽駅や北見バスターミナルなどの交通アクセス（利便性）を重視するとともに、市街地中心部に建設することによる地域活性化等を勘案し、旧遠軽中央病院跡地及び周辺に建設するのが最善であり、岩見通コミュニティー広場駐車場を有効に活用する。

(4) その他

町民有志による新たな会を設置し、設計内容や関連する必要事項の情報などを随時提供すると共に、必要に応じて会合を開くなど、意見交換を行う機会を積極的に設けること等。

2 現状

「遠軽町文化センター等を考える会」の進言書を基本に、岩見通南1丁目周辺に建設場所を確保するため、地権者と交渉を行うとともに、平成28年9月遠軽町議会（定例会）において、(仮称) えんがる町民センター建設基本・実施設計業務委託料として125,280千円（H28～30継続費）、旧遠軽中央病院解体工事実施設計業務委託料として10,000千円に係る補正予算等が議決されました。

今後は、町民有志による新たな会を設置し、会議による意見を基本設計に生かしながら、より具体的な建設内容を調整していきます。

なお、施設名称に関しては、「遠軽町文化センター」や「福祉センター建替え」という名称を使用しておりましたが、今後、公募により正式名称を決定することとし、決定されるまでの仮名称については、「えんがる町民センター」とするものです。

3 完成までのスケジュール

事業内容／年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33
用地買収・補償・取壊し	◆──────────◆					
基本設計・実施設計	◆	──────────◆				
建築・外構工事			◆	──────────◆		
現福祉センター解体工事						◆──────────◆

※年度とは、4月～翌年3月

4 整備予定エリア



5 現況写真
①から撮影



②から撮影

